

やつくい

多治見市立南姫中学校
学校報 No.8
平成28年11月30日

ひびきあい

校長 宇津 慎一

校庭にあるプラタナスの黄色く色づいた葉も落葉し、いよいよ一年納めの12月を迎えようとしています。

11月は2年生が市の音楽祭において、南姫中学校の代表として精一杯発表をしてくれました。午前・午後の2回発表しましたが、午前の発表では普段とは違う大勢の聴衆を目の前にスポットライトで照らされ、緊張のために思うような声を出すことができませんでした。会場で昼食を食べた後、学年のリーダーが午後の発表の前にもう一度練習しようと働きかけ、ロビーで隊形を整え手拍子でリズムをとって最後の練習をしていました。そして、午後の発表、市内8校の最後が南姫中の発表でした。一人一人が真剣な表情で指揮者に注目し、ピアノに合わせて心を一つにした響きのある歌声でした。とても感動しました。

1年生は、長年お世話になっている市原さんの指導を受け、6月の種まきから始めた大豆の収穫を行いました。大豆収穫と豚汁調理のグループに分かれ作業を進め、大豆の刈り取りと豚汁の材料の下ごしらえを、仲間と協力して一生懸命にやっていました。大きな鍋で煮込んだ豚汁は格別の味だったようで、何杯もおかわりをしていました。

さて、先週から、生徒会は総会での執行部提案を受け、12月の人権週間に向けた取組を始めました。岐阜県では人権週間にあたって「ひびきあいの日」の取組を県内各学校で実施しています。南姫中もそれを受け、子どもたち一人一人に自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができようになりたいと考えています。また、生徒会執行部の生徒たちも仲間を思いやり大切にできる、安心して過ごせる学校にしたいと考え、3年生が学校のリーダーとして生徒会活動を活性化させています。

そして、はじめの取組として「良さ見つけ」を各学級で始めています。また、相手を意識することを大切にした「聞くこと・話すこと」についてもこだわって活動しています。さらに、各委員会も安心して過ごせる学校になる活動に取り組み、それぞれの活動がつながりを持ち、ひびきあうよう考えられています。12月の生徒集会では、取組の成果や安心して過ごせる学校について、生徒達が確認し合えることを期待しています。2年生の市音楽祭や1年生の大豆収穫の様子は、まさしく一人一人が自分や他の人の大切さを認められたからではないでしょうか。

終わりに、今週末の3日(土)に開催する合唱祭では、各学級や学年が響きのある合唱を発表します。是非、鑑賞に来ていただきますようお願い申し上げます。



【12月】

行事予定

【1月】

日	曜	行事予定
1	木	合唱取り組み週間Ⅱ 保護者アンケート配布
2	金	⑥合唱祭準備
3	土	合唱祭 14:00～ ※弁当持参
5	月	振替休業日
7	水	三者懇談会 (～12/14)
8	木	三者懇談会
9	金	三者懇談会 人権週間 (～12/15) 民生児童委員訪問 (授業参観)
12	月	三者懇談会 栄養士食育指導
13	火	④ひびきあいの日 SC来校 ⑤⑥認知症サポーター養成講座 (2年生)
14	水	三者懇談会 (最終日)
15	木	⑥生徒会 ALT来校
16	金	④全校学活 ALT来校
19	月	④全校学活
20	火	SC来校
22	木	⑤全校学活 ⑥大掃除
23	金	天皇誕生日
26	月	⑤全校集会
27	火	南姫安全パトロール隊

- ・ 10日 (火) ①全校集会
書き初めの展示(18:00まで ～13日)
- ・ 11日 (水) 3年実力テスト
2年生県学力状況調査
- ・ 12日 (木) 金曜日課
- ・ 13日 (金) 木曜日課 身体測定
⑥生徒集会
- ・ 15日 (日) 第3回資源回収
(予備日1月22日)
- ・ 17日 (火) SC・ALT来校
- ・ 18日 (水) ALT来校
- ・ 19日 (木) 3年三者懇談 (～1/24)
- ・ 20日 (金) 英語検定
- ・ 23日 (月) 道徳計画訪問 栄養士訪問
- ・ 24日 (火) SC来校
- ・ 26日 (木) ・ 27日 (金)
3年後期期末テスト
- ・ 27日 (金) 1・2年実力テスト
- ・ 30日 (月) 中学校入学説明会 (公民館)
- ・ 31日 (火) 月曜日課 保育実習 SC来校

12/27日 (火) ～ 1/7 (土) まで冬季休業日

12/3(土) 南姫中学校合唱祭について

・ 13:55～14:10 開会式 *開場 13:30～

・ 14:10～15:40

各学級の発表 (発表順: 全校→1年生→2年生→特支学級→3年生)

・ 15:50～16:10 閉会式

※演奏途中での入退場はできません。携帯電話の電源はOFFに。



【親育ちコーナー】

「おれいのことばは？」

多治見市教育委員会

当親子参加の催し物の活動が終わった後、ある親(家族)が開催者の私たちにお礼のあいさつをされた後、子どもに「おれいのことばは？」と促されました。すると、すでに移動しかけていた子どもが、体の向きをきちっとこちらに向き直って、笑顔で「ありがとう」と軽く頭を下げあいさつをしました。そして、また向き直り、親子で語りいながら歩いて行かれました。この時の、自分であいさつされながら、子どもに自分でお礼の言葉を考えさせて、相手に対する礼儀を教えてみえる親(家族)の姿勢に感心をしました。

子どもの年齢や状況によって、あいさつの方法や促し方は違いがあると思います。子どもが、自分から他人と「おれいのことば」を行き交わせることができるようになれば、これから先、他人との関わり方は、きっとより滑らかになるのではないのでしょうか。この機会に家族での話題にしてみましよう。